とスイスとの間

スイスとの租税(所得)条約

昭和四十六年 五 昭和四十六年 一 昭和四十六年十二月二十六日 昭和四十六年十二月 昭和四十六年十一月二十六日 昭和四十六年十一月 月二十一 月 十九 十二日 九 日 日 H 効力発生 公布及び告示 国会承認 ベルンで批准書交換 批准の閣議決定 東京で署名 (条約第二二号)

条 条 条 条 文 目 締約国の居住者…… 人的範囲… 次 ページ 四三九 四三八 四三七 四三七 四三七

四四〇

第 第 第 第 前

_

第

Ŧī 四 Ξ

条

恒久的施設......

条約第十条2、条約第十一条2及び条約第十二条2の規定に関するもの 四六四	5 条約第	
条約第十条2aの規定に関するもの 四六四	 条約第 	
条約第五条3の規定に関するもの 四六三	3 条約第	
条約第四条2の規定に関するもの 四六三	2 条約第	
の企業に対する日本の事業税四六三	1 外国の	
四六三	日本側書簡:	
〇所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とスイスとの間の条約に関する交換公文 四六三)所得に対する	_
四六一	末文	
条約の終了及び適用の終了時期四六〇	第二十八条	
批准、効力発生及び適用の開始四六〇	第二十七条	
外交官及び領事官の特権四六〇	第二十六条	
不服申立て及び両国当局間の協議 四五九	第二十五条	
内国民待遇	第二十四条	
二重課税の排除方法 四五五	第二十三条	
その他の所得四五五	第二十二条	
四五	第二十二条 第二十三条	

ス		
イフ	7	6
スイス側書簡	条約の不適正な利用に対するスイスの措置 四六四	条約第十二条及び第十三条の規定に関するもの四六四

CONVENTION BETWEEN JAPAN AND SWITZERLAND FOR THE AVOIDANCE OF DOUBLE TAXATION WITH RESPECT TO TAXES ON INCOME

The Government of Japan and the Swiss

avoidance of double taxation with respect to Desiring to conclude a convention for the

are residents of one or both of the Contract-This Convention shall apply to persons who

Article 2

apply are: l. The taxes to which this Convention shall

- (a) in the case of Japan:
- the income tax, the corporation tax and referred to as "Japanese tax"); the local inhabitant taxes (hereinafter
- (b) in the case of Switzerland:

(b)

スイスについては、

上の利得、 州税及び市町村税

譲渡収益その他の区分の所得) に対する連邦税、

勤労所得、資本所得、産業上及び商業

(以下「スイスの租税」という。)

所得

総合所得、

ۇ 9

所得税、

法人税及び住民税

(以下「日本国の租税」とい

(a)

日本国については、

and commercial profits, capital gains, and other items of income) (hereinafter income, income from capital, industrial taxes on income (total income, earned the federal, cantonal and communal referred to as "Swiss tax").

2. This Convention shall also apply to any other taxes of a character substantially simi-

スイスとの租税(所得)条約

2

この条約は、

その署名の日の後にいずれか一方の締約国又

義

な期間内に、相互に通知するものとする。れの国の税法について行なわれた改正を、その改正後の妥当も、また、適用する。両締約国の権限のある当局は、それぞ税であつて1に掲げる租税と実質的に類似するものについてはその地方政府若しくは地方公共団体によつて設けられる租

予納税については、適用しない。3~この条約は、富くじ類の賞金について源泉徴収される連邦

の租税についても、また、適用する。4 この条約は、第八条2の規定に関する場合に限り、同条2.予納税については、適用しない。

第三条

ほか、・12の条約において、文脈により別に解釈すべき場合を除く1~2の条約において、文脈により別に解釈すべき場合を除く1

の租税に関する法令が施行されているすべての領域をいう。()「日本国」とは、地理的意味で用いる場合には、日本国ほか、・

(1) 「スイス」とは、スイス連邦をいう。

り、日本国又はスイスをいう。()「一方の締約国」及び「他方の締約国」とは、文脈によ

(e) 「者」とは、個人、法人及び法人以外の団体をいう。租税をいう。 租税をいう。 日本国の租税又はスイス(

0

lar to those referred to in paragraph 1 and introduced by either Contracting State or by a political subdivision or a local authority thereof after the date of signature of this Convention. The competent authorities of the Contracting States shall notify to each other any changes which have been made in their respective taxation laws within a reasonable period of time after such changes.

3. This Convention shall not apply to Federal

4. With respect to paragraph 2 of Article 8 only, this Convention shall also apply to the tax referred to in that paragraph.

anticipatory tax withheld at the

source on

prizes in a lottery.

Article 3

1. In this Convention, unless the context otherwise requires:

- (a) the term "Japan", when used in a geographical sense, means all the territory in which the laws relating to Japanese tax are in force;
- the term "Switzerland" means the Swiss Confederation;
- the terms "a Contracting State" and "the other Contracting State" mean Japan or Switzerland, as the context requires;

(c)

(d) the term "tax" means Japanese tax or Swiss tax, as the context requires;(e) the term "person" comprises an individual, a company and any other body of persons; 1

との条約の適用上、

一方の締約国の居住者」とは、

当該

第四

(h) (g) (f) 締約国の居住者が営む企業をいう。 格を有する団体として取り扱われる団体をい 「一方の締約国の企業」及び「他方の締約国の それぞれ 法人」とは、 一方の締約国の居住者が営む企業及び他方の 法人格を有する団体又は租税に関し法人

又は権限を与えられたその代理者をいい、

(h)

連邦税務長官又は権限を与えられたその代理者をいう。 権限のある当局」とは、日本国については、大蔵大臣 スイスについて

2 れていない用語は、 法令上有する意義を有するものとする。 方の この条約の対象である租税に関する当該 締約国がこの条約を適用する場合には、 文脈により別に解釈すべき場合を除くほ 方の締約国 特に定義 3 0

(f) the term "company" means any body coras a body corporate for tax purposes; porate or any entity which is treated

50

企

業

لح

(g)

the terms "enterprise of a Contracting prise carried on by a resident of the of a Contracting State and an enteran enterprise carried on by a resident other Contracting State; Contracting State" State" and "enterprise of the other mean respectively

the term "competent authority" means istration or his authorised representathe Director of the Federal Tax Admintive, and, in the case of Switzerland, Finance or his authorised representain the case of Japan, the Minister of

requires, have the meaning which it has under the laws of that Contracting State relating to wise defined shall, unless the context otherwise tion by a Contracting State any term not other-2. As regards the application of this Conventhe taxes which are the subject of this Conven-

Article 4

only if he derives income from sources thereor any other criterion of a similar nature, of head or main office, place of management any person who, under the laws of that Conis liable to tax in that Contracting State but the term does not include any person who by reason of his domicile, residence, place tracting State, is liable to taxation therein includes partnerships created or organised in; and in the case of Switzerland, the term term "resident of a Contracting State" means For the purposes of this Convention, the

イスとの租税 (所得) 条約

れる者をいう。ただし、

たる事務所の所在

地、

管理

0 お 5

場所その他とれらに類する基準

方の締約

国の法令の下に

て、住所、

居所、

本店又は

により当該一方の締約国において課税を受けるべきものとさ

との用語に

は、 当該

一方の締約国内

国に

な

の源泉から所得を取得する場合に限り当該一方の締約

て租税を課される者を含まない。スイスについては、こ

スイスの法令に基づいて設立され又は組織された

組合を含む。

ては、 個人が居住者であるとみなされる締約国を決定する。 1の規定によつて双方の締約国の居住者となる個人につい 権限のある当局は、 合意により、この条約の適用上そ

の居住者とみなす。 のものは、その者の本店又は主たる事務所が存在する締約 1 の規定によつて双方の締約国の居住者となる者で個人以

第五条

設恒 久的施 施 1 定の場所であつて企業がその事業の全部又は一部を行なつて 5 るものをいう。 との条約の適用上、 「恒久的施設」とは、事業を行なり一

2 恒久的施設」には、 特に、 次のものを含む。

(a) 管理所

(b)

支店

(c) 事務所

(**d**) I 場

(e)

業場

(f) 鉱山、 採石場その他天然資源を採取する場所

(g) 月をこえる期間存続するもの 恒久的施設」については、次のことは、含まれないもの 建築工事現場又は建設若しくは組立ての工事で、 十二箇

3

under Swiss law.

shall be deemed to be a resident for the graph I an individual is a resident of both 2. Where by reason of the provisions of parathorities shall determine by mutual agreement the Contracting State of which that individual Contracting States, then the competent au-

purposes of this Convention.

a resident of both Contracting States, then graph 1 a person other than an individual is 3. Where by reason of the provisions of paraoffice is situated. Contracting State in which its head or main it shall be deemed to be a resident of the

Article Ç

enterprise is wholly or partly carried on. place of business in which the business of the term "permanent establishment" means a fixed 1. For the purposes of this Convention, the

2. The term "permanent establishment" shall include especially:

(a) a place of management;

(b) a branch;

(d) a factory; (c) an office;

(e) a workshop;

(f) a mine, quarry or other place of extraction of natural resources;

The term "permanent establishment" shall (g) a building site or construction or assembly project which exists for more than twelve months.

ω •

四 四〇

- (a) 又は引き渡すため、 企業に属する物品又は商品をもつばら保管 施設を使用すること。 Ļ 展示
- (b) 展示し、又は引き渡すため、 企業に属する物品又は商品の在庫を、 保有すること。 もつばら保管し、
- (c) による加工のため、保有すること。 企業に属する物品又は商品の在屋を、 もつばら他の企 業
- (d) محرح 情報を収集するため、 企業の ためにもつばら物品若しくは商品を購入し、又は 事業を行なり一定の場所を保有する
- (e) 行なうため、 0 他とれらに類する準備的若しくは補助的な性質の活動 企業のためにもつばら広告、情報の提供、 事業を行なら一定の場所を保有すること。 科学的調査 を 7
- 4 約国内で監督活動を行なう場合には、 現場又は他方の締約国内で行なわれている建設若しく ての工事に関連して、十二箇月をこえる期間、 1久的施設を有するものとされる。 一方の 締約 国の企業は、 他方の締約国内における建築工事 当該他方の締約国内に 当該他 一方の締 は組 立.
- 約を締結する権限を有し、 であつて、当該一方の締約国内で、 (6の規定が適用される独立の地位を有する代理人を除く。) 一方の締約国内で他方の締約国の企業に代わつて行動する かつ、これを常習的に行使するも 当該企業の名において契

5

not be deemed to include:

- (a) the use of facilities solely for the of goods or merchandise belonging to purpose of storage, display or delivery
- (b) the maintenance of a stock of goods or display or delivery; solely for the purpose of storage, merchandise belonging to the enterprise
- (c) the maintenance of a stock of goods or by another enterprise; solely for the purpose of processing merchandise belonging to the enterprise
- the maintenance of a fixed place of for collecting information, for the
- (d) (e) the maintenance of a fixed place of purchasing goods or merchandise, or business solely for the purpose of auxiliary character, for the enterprise. activities which have a preparatory or for scientific research or for similar vertising, for the supply of information, business solely for the purpose of ad-

shall be deemed to be a permanent establishment connection with a building site or construcbe deemed to have a permanent establishment in in the first-mentioned Contracting State if he pendent status to whom paragraph 6 applies -ing State -- other than an agent of an indebehalf of an enterprise of the other Contract-5. A person acting in a Contracting State on taken in that other Contracting State. tion or assembly project which is being undertracting State for more than twelve months in the supervisory activities in that other Conthe other Contracting State if it carries on An enterprise of a Contracting State shall

することに限られる場合は、この限りでない。だし、その者の行動が当該企業のために物品又は商品を購入のは、当該一方の締約国内における恒久的施設とされる。た

6 うも るものとされることは 有する代理 ・う理由のみでは、 方の Ō を通じて他 締 人でこれらの者としての 約 K 一の企業は、 方の締約 当 ない。 該 他 仲立人、 国 方の締 「内で事業活動を行なつていると | 約国内に恒久的施設を有す 業務を通常の方法で行な 問 屋その 他 独 立 の 地 位を

7 な れらに支配され 通じ若しくは通じな 方の法人も、 である法人若しくは 一方の締約 国の 他方の法人の恒久的施設であることとはなら ているという事実のみによつては、 居住者である法人 いで事 他方の 業を行なり法人を支配 締 約国 内において が、 他方の 締 恒久的施設を 約国 ・ずれの 又は 0 居 ح 住

第六条

締約国において租税を課することができる。 1 不動産から生ずる所得に対しては、当該不動産が存在する

係る所得に

2 よるものとする。 利の対価として料金 附属する財産、 益権 「不動産」 並 産に関する一 びに鉱石、 の定義は、 農業又は林業に用いられている 不動産には、 水その他 (その金額が確定しているかどうかを問 般法 当該財産が存在する締約国 0 規定の適用 の天然資源の採取又は採取 S かなる場合にも、 がある 権利、 家畜 類及 一の法 不動 不 への権 公び設 動 産 令 産 K W

has, and habitually exercises in that first-mentioned Contracting State, an authority to conclude contracts in the name of the enterprise, unless his activities are limited to the purchase of goods or merchandise for the enterprise.

of a Contracting State controls or is conagent or any other agent of an independent not be deemed to have a permanent establishment An enterprise of a either company a otherwise), shall not of itself constitute on business in that other Contracting State the other Contracting State, or which carries trolled by a company which is a resident of 7. The fact that a company which is a ordinary course of their business. status, where such persons are acting ing State through a broker, general commission it carries on business in that other Contractin the other Contracting State merely because (whether through a permanent establishment or permanent establishment of Contracting State shall

Article 6

Income from immovable property may be taxed n the Contracting State in which such property s situated.

2. The term "immovable property" shall be defined in accordance with the laws of the Contracting State in which the property in question is situated. The term shall in any case include property accessory to immovable property, livestock and equipment used in agriculture and forestry, rights to which the provisions of general law respecting immovable property apply, usufruct of immovable property and rights to variable or fixed payments as

3 1 4 ても、 職業を行なりために使用される不動産から生ずる所得につい とはみなさない。 わない。)を受け取る権利を含む。 式による使用から生ずる所得について適用する。 1及び3の規定は、企業の不動産 1 一方の締約国の企業の利得に対しては、その企業が他方の の規定は、 また、 第 兄七条 適用する。 不動産 0 直接使用、 船舶及び航空機は、 賃貸その他のすべ

から生ずる所得及び自

2 課することができる。一方の締約国の企業が他方の 久的施設 通じて当該他方の締約国内で事業を行なり場合には、 することができる。 れる部分に対してのみ、 う場合には**、** にある恒久的施設を通じて当該他方の締約国内で 業を行なわない限り、 締約国内にある恒久的施設を通じて当該他方の締約国内で おいて当該恒久的施設に帰せられるものとする。 一方の締約国の企業が他方の締約国内にある恒久的施設を かつ、 当該恒久的 取引を行なり別個 が同一又は類似の条件で同一又は類似の活動を行 当該恒久的施設を有する企業と、 その企業の利得のうち当該恒久的施設に帰せら 施設が取得したとみられる利得が、 当該 0 当該他方の締約国において租税 か 一方の締約国においてのみ租税を 一つ分離した企業であるとしたなら 全く独立の立場 事業を行な 締約国 各締約国 当該恒 を課 内 事

> consideration for the working of, or the right natural resources; ships and aircraft shall not be regarded as immovable property. to work, mineral deposits, sources and other

The provisions of paragraph 1 shall apply

ての

形

Ħ

不動産

also apply to the income from immovable proper-4. The provisions of paragraphs 1 and 3 shall ble property used for the performance of proty of an enterprise and to income from immovafessional services. income derived from the direct use, letting, use in any other form of immovable property.

attributable to that permanent establishment. ing State but only so much of them as is enterprise may be taxed in the other Contractbusiness as aforesaid, the profits of the through a permanent establishment situated on business in the other Contracting State tracting State unless the enterprise carries ing State shall be taxable only in that Con-1. The profits of an enterprise of therein. If the enterprise carries on

carries on business in the other Contracting 2. Where an enterprise of a Contracting State with the enterprise of which it is a permanent conditions and dealing wholly independently similar activities under the same or similar separate enterprise engaged in the same or expected to make if establishment the profits which it might be situated therein, there shall in each Contracting State be attributed to that permanent State through a permanent establishment it were a distinct and

いて生じたかを問わず、損金に算入することを認められる。その恒久的施設が存在する締約国内で生じたか他の場所にお般管理費を含む費用でその恒久的施設のために生じたものは、3 恒久的施設の利得を決定するにあたつては、経営費及び一

4 5 分の 締約国が租税 慣行 この条に定める原則に適合するようなものでなければならな の総額 2 う方法によつて決定することを妨げるものでは 用いられる配 が一方の締約 0 規 の当 定 を課されるべき利得をその慣行とされている配 該企業の各構成部分への配分によつて決定する 恒 国に 分の方法は、その方法によつて得た結 久的施設に帰せられ おい て行なわれている場 るべき利 合に 得を企業 ない。ただ は、 その 果が 0

5 せられることはない。 購入を理由としては、 恒久的施 記設が 企業の 5 ために行なつた物品又は かなる利得も、 その恒久的 商品 施設に 0 単 なる 帰

の限りでない。別の方法を用いるととについて正当な理由がある場合は、と別の方法を用いるととについて正当な理由がある場合は、と得は、毎年同一の方法によつて決定するものとする。ただし、1から5までの規定の適用上、恒久的施設に帰せられる利

6

よつて影響されることはない。に含まれる場合には、当該他の条の規定は、この条の規定に7 他の条で別個に取り扱われている種類の所得が企業の利得

第

八八条

3. In the determination of the profits of a permanent establishment, there shall be allowed as deductions expenses which are incurred for the purposes of the permanent establishment including executive and general administrative expenses so incurred, whether in the Contracting State in which the permanent establishment is situated or elsewhere.

4. Insofar as it has been customary in a Contracting State to determine the profits to be attributed to a permanent establishment on the basis of an apportionment of the total profits of the enterprise to its various parts, nothing in paragraph 2 shall preclude that Contracting State from determining the profits to be taxed by such an apportionment as may be customary; the method of apportionment adopted shall, however, be such that the result shall be in accordance with the principles laid down in this Article.

5. No profits shall be attributed to a permament establishment by reason of the mere purchase by that permanent establishment of goods or merchandise for the enterprise.

6. For the purposes of the preceding paragraphs, the profits to be attributed to the permanent establishment shall be determined by the same method year by year unless there is good and sufficient reason to the contrary.

7. Where profits include items of income which are dealt with separately in other Articles of this Convention, then the provisions of those Articles shall not be affected by the provisions of this Article.

1 ることによつて取得する利得に対しては、 K おいてのみ租税を課することができる。 一方の 締約国の企業が船舶又は航空機を国際運輸に運 当該 一方の締 足用す 約

2 することにつき、 一方の締約国の企業は、船舶又は航空機を国際運輸に運用 他方の締約国において事業税を免除される。

3 用する。 は 国際 方の締約国の企業がいかなる種類の共同計算、 1 及び2の規定は、 経営共同体に参加している場合についても、 船舶又は航空機を国際運輸に運用する 共同経営又 同様に適

第 九

(a) しくは資本に直接若しくは間接に参加している場合又は 方の締 約国の企業が他方の締約国の企業の経営、 支配若

(b) 場合 経営、 同 支配若 の者が一方の締約国の企業及び他方の締約国 しくは資本に直接若しくは間接に参加 している の企業の

その商業上又は資金上の関係において独立 る利得であつてその条件のために当該 0 れる条件と異なる条件が設けられ又は課されているときは、そ であつて、 条件がないとしたならば一方の企業の利得となつたとみられ かつたものに対しては、これをその企業の利得に算入して租 そのいずれの場合においても、 一方の企業の利得となら 双方の企業の の企業の間に設けら 間 K

イスとの租税(所得)条約

an enterprise of a Contracting State shall be craft in international traffic carried on by 1. Profits from the operation of ships or airtaxable only in that Contracting State.

国

national operations agency of any kind by an by an enterprise of a Contracting State, that aircraft in international traffic carried on 2. In respect of the operation of ships or engaged in the operation of ships or aircraft in international traffic enterprise of a Contracting State which is enterprise shall be exempt in the other pools, in a joint business or in an interlikewise apply in respect of participation in 3. The provisions of paragraphs 1 and 2 shall tracting State from the enterprise

Article 9

Where

(a) an enterprise of a Contracting State the management, control or capital of participates directly or indirectly in State, or an enterprise of the other Contracting

the same persons participate directly other Contracting State, or capital of an enterprise of a or indirectly in the management, tracting State and an enterprise control Con-

(b)

commercial or financial relations which differ included in the profits of that enterprise and and in either case conditions are made or imthose conditions, have not so accrued, may be to one of the enterprises, but, by reason of would, but for those conditions, have accrued pendent enterprises, then any profits which from those which would be made between indeposed between the two enterprises in their

税を課することができる。

第十条

課することができる。 に支払り配当に対しては、当該他方の締約国において租税を1 一方の締約国の居住者である法人が他方の締約国の居住者

2 1の配当に対しては、これを支払り法人が居住者である締2 1の配当に対しては、これを支払り法人の全議決権の二十五パーセント以上を有する場合には、法人の全議決権の二十五パーセント以上を有する場合には、 となる日に先だつ六箇月の期間を通じ、当該配当を支払りとする。 となる日に先だつ六箇月の期間を通じ、当該配当の金額の十パーセント 当該配当の金額の十パーセント 当該配当の金額の十パーセント

この規定は、配当に充てられる利得についての当該法人にセント () その他のすべての場合には、当該配当の金額の十五パー

る所得と同様に取り扱われるものをいう。 この条において、「配当」とは、株式、受益株式から生ずれたら生ずる所得及びその他の持分から生ずる所得であつて分株式その他利得の分配を受ける権利(信用に係る債権を除く) 対する課税に影響を及ぼすものではない。

taxed accordingly.

四四六

.

Article

1. Dividends paid by a company which is a resident of a Contracting State to a resident of the other Contracting State may be taxed in that other Contracting State.

2. However, such dividends may be taxed in the Contracting State of which the company paying the dividends is a resident, and according to the laws of that Contracting State, but the tax so charged shall not exceed:

- (a) 10 per cent of the gross amount of the dividends if the company receiving such dividends owns, during the period of six months immediately preceding the date when the dividends become payable, 25 per cent or more of the entire voting power in the company paying such dividends;
- in all other cases, 15 per cent of the gross amount of the dividends. $\ensuremath{\,^{\circ}}$

(b)

This paragraph shall not affect the taxation of the company in respect of the profits out of which the dividends are paid.

3. The term "dividends" as used in this Article means income from shares, "jouissance" shares or "jouissance" rights, founders' shares or other rights, not being debt-claims, participating in profit, as well as income from other corporate rights assimilated to income from shares by the taxation laws of the Contracting State of which the company making the distribu-

4 関連する恒久的施設を有する場合には、 内にその配当の支払の基因となつた株式又は持分と実質的に が、 び2の規定は、一方の締約国の居住者である配当の受 その配当を支払り法人が居住者である他方の締約国 第七条の規定を適用する。 適用しない。この場

5 又は所得を取 とができず、また、 ら成るときも、 全部又は一部が当該他方の締約国内で生じた利得又は所得 の法人の留保所得については、これらの配当及び留保所得の 人が当該他方 ることができない。 一方の 締約国の居住者である法人が他方の締約 得する場合には、 の締約国の居住者でない者に支払う配当及びそ 当該配当に対していかなる租税をも課するこ 当該留保所得に対して留保所得税を課 当該他方の締約国は、 国から利 その法 す か 得

第十一条

1 る利子に対しては、 ことができる。 一方の締約国内で生じ、 当該他方の締約国において租税を課する 他方の締約国の居住者に支払われ

2 その締約国の法令に従つて租税を課することができる。その 租税の額は、 1の利子に対しては、 当該利子の金額の十パーセントをこえないもの 当該利子が生じた締約国におい て、

3 2の規定にかかわらず、

イスとの租税

(所得) 条約

(a) 日 本国内で生ずる利子であつて、 スイス又はスイ ス の所

> 4. The provisions of paragraphs 1 and 2 shall being a resident of a Contracting State, has not apply if the recipient of the dividends, effectively connected. In such a caprovisions of Article 7 shall apply. by virtue of which the dividends are paid is permanent establishment with which the holding company paying the dividends is a resident, a in the other Contracting State, of which the In such a case, the

of profits or income arising in that other Con-Contracting State may not impose any tax on Contracting State derives profits or income 5. Where a company which is a resident of a undistributed profits consist wholly or partly profits, even if the dividends paid or the tributed profits to a tax on undistributed ing State, or subject the company's undisthe dividends paid by the company to persons from the other Contracting State, that other tracting State. are not residents of that other Contract-

Article 11

paid to a resident of the other Contracting State. State may be taxed in that other Contracting 1. Interest arising in a Contracting State and

exceed 10 per cent of the gross amount of State, but the tax so charged shall not according to the laws of that 2. However, such interest may be taxed in Contracting State in which it arises, and the

- Notwithstanding the provisions of paragraph 2, (a) interest arising in Japan and derived by
- a resident of Switzerland with respect

四 四七

(b) するもの又は日本銀行若しくは日本輸出入銀行によつて保 取得するものについては、 これらによる間接融資に係る債権に関 有する機関によつて保証され若 スイス内で生ずる利子であ 日本国の租税を免除する。 つつて、 しくは保険され 日本輸出入銀行 しスイスの居住者 た債権 ごが取 又は が

- 4 居住者が取得するものについては、スイスの租税を免除する。 この条におい しくは日本国政府によつて保険された債権に関し日本国 |された債権、これらの銀行による間接融資に係る債権若 7 「利子」とは、 公債、 債券又は 社債 (担 0
- ずる所得と同様に取り扱われるものをいう。 の他の所 の他のすべての種類の信用に係る債権から生じた所得及びそ 無及び利得の分配を受ける権利の有無を問わ 得で当該所得が生じた締約国の税法上貸付金から生 ない。そ

の有

- 5 用しない。この場合には、 た債権と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、 領者が、その利子の生じた他方の締約国内にその利子を生じ 1及び2の規定は、 一方の締約国の居住者である利子の受 第七条の規定を適用する。 適
- 方公共団体若しくは居住者である場合には、 利子は、その支払者が一方の締約国又はその地方政府、 その締約国 内 で 地

久的施設を有する場合において、

その利子の支払の基因とな

かつ、その利子を

の居住者であるかどうかを問わない。)が一方の締約

ただし、

利子の支払者

(一方の締約国

国内に恒

つた債務が当該恒久的施設について生じ、

生じたものとされる。

6

- shall be exempt from Japanese tax; and institution fully owned by Switzerland indirectly financed by Switzerland or any to debt-claims guaranteed or insured or
- with respect to debt-claims insured by or the Export-Import Bank of Japan or respect to debt-claims guaranteed or derived by the Export-Import Bank of interest arising in Switzerland and the Government of Japan shall be exempt indirectly financed by the Bank of Japan Japan, or a resident of Japan with Swiss tax.
- a case, the provisions of Article 7 shall arises is effectively connected. which the debt-claim from which the interest being a resident of a Contracting State, has 5. The provisions of paragraphs 1 and 2 shall or debentures, whether or not secured by mortinterest arises a permanent establishment with not apply if the recipient of the interest, kind as well as all other income assimilated to gage and whether or not carrying a right to means income from Government securities, bonds in the other Contracting State in which the the Contracting State in which the income arises participate in profits, and debt-claims of every 4. The term "interest" as used in this Article income from money lent by the taxation laws of In such
- with which the indebtedness on which the inter-State a permanent establishment in connection the interest, whether he is a resident of a 6. Interest shall be deemed to arise in a Con-Contracting State or not, has in a Contracting ing State itself, a political subdivision, a tracting State when the payer is that Contractlocal authority or a resident of that Contract-State. Where, however, the person paying

当該恒久的施設が負担するときは、その利子は、 一設が存在する締約国内で生じたものとされる。 当該恒久的

7 ならば支払者及び受領者が合意したとみられる金額をこえる なつた債権を考慮する場合において、その関係がない とぎは、この条の規定は、その合意したとみられる金額につ いてのみ適用する。との場合には、 関係により、支払われた利子の金額が、その支払 1締約国の法令に従つて租税を課することができる。 1分に対し、この条約の他の規定に妥当な考慮を払つたうえ、 支払者と受領者との間又はその双方と第三者との 支払われた金額のうち超 の基因と 間 とした この特 別

1 る使用料に対しては、 る ことができる。 一方の締約国内で生じ、 当該他 他方の締約国の居住者に支払われ 方の締約国におい て租税を課す

2 その租税の て、 1 の . ものとする。 その締約国の法令に従つて租税を課することができる。 使用料に対 の額は、 ĩ 当該使用料の金額の十パー T は、 当該使用 料 が生じ た締 セントをこえな 約国に ょ

3 ビジョン放送用のフィルム又はテープを含む。)の著作権、 は学術上の著作物 この条において、 使用若しくは使用の権利 商標権、 意匠、 (映画フィルム及びラジオ放送用又はテ 模型、 使用料」とは、文学上、 図面、 の対価として、産業上、 秘密方式若しくは秘密工 美術上若 商業上 しく

イスとの租税

(所得) 条約

borne by such permanent establishment, then est is paid was incurred, and such interest is such interest shall be deemed to arise in the Contracting State in which the permanent esis situated.

claim for which it is of the interest paid, having regard to the debtapply only to the last-mentioned amount. which would have been agreed upon by the payer both of them and some other person, the amount 7. Where, owing to a special relationship beto the other provisions of this Convention. each Contracting State, due regard being had shall remain taxable according to the laws of that case, the excess part of the payments tionship, the provisions of this Article shall and the recipient in the absence of such relatween the payer and the recipient or between paid, exceeds the amount

Article

and paid to a resident of the other Contract-1. Royalties arising in a Contracting State State may be taxed in that other Contract-

royalties. ceed 10 per cent of the gross amount of the State, but the tax so charged shall not exand according to the laws of that Contracting the Contracting State in which they arise, 2. However, such royalties may be taxed in

casting, any patent, trade mark, design or tific work including cinematograph films and any copyright of literary, artistic or sciensideration for the use of, or the right to use, means payments of any kind received as a con-3. The term "royalties" as used in this Article films or tapes for radio or television broad-

四四四 九

若しくは 対価として受け 1及び2の規定 又は産 学術 業上、 上 0 んは、 取るすべての種 商業上若しくは学術上の 設 備 0 方の 使 別用若 締 約国 しく 類 の支払 0 は使用 公金をい 経験に関する情 0)権利 50 の対価とし 報

5 当該恒久的施設が負担するときは、その使用料は、 地 で生じたものとされる。 方公共団体若しくは居住者である場合には、 使用 の居住者であるかどうかを問 的 が存在する締約国内で生じたものとされる。 が当該 施設 は を有 恒久的施設について生じ、 その支払者が する場合において、 ただし、 一方の締約国又はその地 わない。)が一方の締約 使用料の支払者 その使用料を支払りべ かつ、その使用料を その 締約 方政 当該恒久 一方の締 国内 国 府 内

みられる金額についての とができる。 考慮を払つたらえ、 れる金 となつた使用、 関係により、 支払者と受領 が 一額をこえるときは、 ないとしたならば支払者及び受領者 のうち超過分に対し、 支払われた使用料の金額が 者との間又はその双方と第三者との間 権利又は情 各締約国の法令に従つて租税を課すると み適用する。 との条の規定は、 報を考慮する場合に との条約の他の規定に妥当な との場合には、 が その合意したと : 合意したとみら その支払の基因 おいて、 の特 支払わ その 別

6

model, plan, secret formula or process, or for the use of, or the right to use, industrial, commercial or scientific equipment, or for information concerning industrial, commercial or scientific experience.

such permanent establishment, then such royalwas incurred, and such royalties are borne by with which the obligation to pay the royalties case, the provisions of Article 7 shall apply. ing State in which the permanent establishment ties shall be deemed to arise in the Contract-State a permanent establishment in connection Contracting State or not, has in a Contracting the royalties, whether he is a resident of a 5. Royalties shall be deemed to arise in a Conwhich the right or property giving rise to the royalties arise a permanent establishment with not apply if the recipient of the royalties, local authority or a resident of that Contracting State itself, a political subdivision, a tracting State when the payer is that Contractroyalties is effectively connected. In such a in the other Contracting State in which the being a resident of a Contracting 4. The provisions of paragraphs 1 and 2 shall situated. State. Where, however, the person paying

tween the payer and the recipient or between the payer and the recipient or between both of them and some other person, the amount of the royalties paid, having regard to the use, right or information for which they are paid, exceeds the amount which would have been agreed upon by the payer and the recipient in the absence of such relationship, the provisions of this Article shall apply only to the lastmentioned amount. In that case, the excess part of the payments shall remain taxable according to the laws of each Contracting State, due regard being had to the other provisions of this Convention.

1 が 第六条2に定義する不動産の譲渡から生ずる収益に対して 当該不動産が存在する締約国において租税を課すること

2 く。)の譲渡 締約国の居住者が自由職業を行 の事業用資産の一部をなす財産 居住者 に行なわれる当該恒久的施設の譲渡又は当該固定的施 て使用することができる固 つて取得する収益に対しては、 いて租税を課することができる。ただし、 から生ずる収益を含む。)に対しては、 一方の締 航空機の運用に係る財産 が国際運輸に運用する船舶又は航空機及びこれ から生ずる収益 定的施設に係る財産 (単独に若しくは企業全体ととも なうため他方の締約国に 当 (不動産を除く。)の譲渡によ (不動 「該一方の締約国においての (産を除く。)又は一方の 当該他方の締約国に 方の締 (不動産を除 いらの船 約国の 爬設の譲 . お

できる。 約 国 の企 一業が他方の 締約国内に有する恒久的 施設

may be taxed in the Contracting State in which perty, as defined in paragraph 2 of Article 6, such property is situated. l. Gains from the alienation of immovable pro-

of the business property of a permanent esor of any property (other than immovable 2. Gains from the alienation of any property or aircraft operated in international traffic manent establishment (alone or together with such gains from the alienation of such a perperforming professional services, including other Contracting State for the purpose of to a resident of a Contracting State in the property) pertaining to a fixed base available ing State has in the other Contracting State tablishment which an enterprise of a Contract-(other than immovable property) forming perty) pertaining to the operation of such and any property (other than immovable pro-Contracting State from the alienation of ships may be taxed in that other Contracting State. the whole enterprise) or of such a fixed base, However, gains derived by a resident of a

paragraphs 1 and 2 apply shall be other than those to which the provisions of 3. Gains derived by a resident of a Contractthat Contracting State. ing State from the alienation of any property in that Contracting

ships or aircraft shall be taxable only in

Article

 Income derived bу ø resident o f ಬ

十四

3

約

一税を課することができる。

以

の 方

財 Ø

方の締約国においてのみ租税を課することができる。

・産の譲渡によつて取得する収益に対しては、

当該

産

|国の居住者が1及び2の規定の適用される財

1 方 0 締 約国 一の居 住者が .自由職業その他これに類する独 立

イスとの

租税

(所得) 条約

せられる部分に対してのみ、 他 を課することができる。 のみ租税を課することができる。 |設を有する場合には、当該所得のうち当該固定的施設に帰 (を遂行するために通常使用することができる固定的施設を 方の締約国内に有しない限り、当該一方の締約国において 動 K 関して取得する所得に対しては、その者が自己の活 当該他方の締約国において租税 その者がそのような固定的

2 育上 :医師及び公認会計士の独立の活動を含む。 自 一の独立の活動並びに医師、 由職業」には、特に、 学術上、文学上、美術上及び教 弁護士、 技術士、 建築士、 歯

報に及給 酬対び与 す勤所 る務得

2 1 することができる。 ては、 ことを条件として、 約国内で行なう勤務について取得する報酬に対しては、 る給料、 合を除くほか、 [内で行なわれる場合には、 おいてのみ租税を課することができる。 が他方の 1の規定に 次条及び第十八条から第二十条までの規定が適用される場 当該他方の締約国におい 賃金その他とれらに類する報酬に対しては、 締約国内で行なわれない限り、 かかわらず、 一方の締約国 当該一方の締約国においてのみ租税を課 一方の締約国の居住者が他方の締 その勤務から生ずる報酬に対 [の居住者が勤務について取得す て租税を課することができる。 勤務が他方の締約 当該一方の その 締 次の 約国 ĩ 勤

> ing State but only so much of it as is attributthe able to that fixed base. his activities. If he has such a fixed base, tracting State for the purpose of performing regularly available to him in the other Contracting State unless he has a fixed base character shall be taxable only in that Conor other independent activities of a similar ing State in respect of professional services income may be taxed in that other Contract-

dentists and accountants. physicians, lawyers, engineers, architects, as well as the independent activities of artistic, educational or teaching activities especially, independent scientific, literary, The term "professional services" includes,

Article 15

ing therefrom may be taxed in that other Contractexercised, such remuneration as is derived Contracting State. If the employment is so unless the employment is exercised in the other shall be taxable only in that Contracting State Contracting State in respect of an employment lar remuneration derived by a resident of a 1. Subject to the provisions of Articles 16, 19 and 20, salaries, wages and other simi-State.

- be taxable only in the first-mentioned Contractexercised in the other Contracting State shall tracting State in respect of an employment l, remuneration derived by a resident of a Con-2. Notwithstanding the provisions of paragraph ing State if: (a) the recipient is present in that other not exceeding in the aggregate 183 days Contracting State for a period or periods
- the calendar year concerned, and

えない期間当該他方の締約国内に滞在し、

その報酬の受領者が当該年を通じて合計百八十三日をこ

(c) 施設又は固定的施設によつて負担されないこと。 報酬が当該他方の締約国内に雇用者の有する恒久的

(b)

その報酬が当該他方の締約国の居住者でない雇用者又は

に代わる者から支払われ、

かつ、

3 運輸に運用する船舶又は航空機において行なわれる勤務に係 る報酬に対しては、 1及び2の規定に かかわらず、一方の締約国の企業が国際 当該一方の締約国において租税を課する

第十六条

ことができる。

役員の資格で取得する報酬に対しては、 て租税を課することができる。 方の締約国の居住者が他方の締約国の居住者である法人の 当該他方の締約国にお

第十七条

1 課することができる。 得に対しては、その活動が行なわれた締約国において租税を 運 ラジオ又はテレビジョンの俳優、 第十 !動家がこれらの者としての個人的活動によつて取得する所 四条及び第十五条の規定にかかわらず、演劇、 音楽家その他の芸能人及び 映 画

2 業によつて提供される場合において、 能人又は運動家の役務が一 第五条、第七条及び第十四条の規定にかかわらず、 方の締約国内で他方の締約国 その役務を行なら芸能 1の芸 一の企

- (b) the remuneration is paid by, or on behalf of, an employer who is not a resident of that other Contracting State, and
- (c) the remuneration is not borne by a perwhich the employer has in that other Contracting State. manent establishment or a fixed base
- operated in international traffic by an enteremployment exercised aboard a ship or aircraft 3. Notwithstanding the preceding provisions of prise of a Contracting State may be taxed in this Article, remuneration in respect of an that Contracting State.

Article

tracting State in his capacity as a member of taxed in that other Contracting State. resident of the other Contracting State may be the board of directors of a company which is a Remuneration derived by a resident of a

 Notwithstanding the provisions of Articles
 7 and 14, where the services of a public l are provided in a Contracting entertainer or an athlete mentioned in paragraph taxed in the Contracting State in which these vision artistes, and musicians, and by athletes, such as theatre, motion picture, radio or tele-14 and 15, income derived by public entertainers, 1. Notwithstanding the provisions of Articles activities are exercised. from their personal activities 7 and 14, where the services of a public as such may be

四五三

enterprise of the other Contracting State, the

State by an

人又は運動家が 直接又は間接に当該企業を支配しているとき

スイスとの租税(所得)条約

は、その役務の提供により当該企業が取得する利得に対して 当該一方の締約国において租税を課することができる。

類 することができる。 する報酬に対しては、 住者に過去の勤務について支払われる退職年金その他これに 次条1の規定が適用される場合を除くほか、 当該一方の締約国においてのみ租税を 一方の締約国の

1 若しくは地方公共団体によつて支払われ、又は当該一方の締 しくは地方公共団体に提供された役務につき、 政府 国の国民に対し、 の職務の遂行として一方の締約国又はその地方政府若 当該一方の締約国若しくはその地方政府 当該一方の締

> such enterprise. services controls, directly or indirectly, entertainer or the athlete performing the mentioned Contracting State if the public by such enterprise may be taxed in the firstprofits derived from providing those services

Article 18

taxable only in that Contracting State. in consideration of past employment shall be tion paid to a resident of a Contracting State Article 19, pensions and other similar remunera-Subject to the provisions of paragraph 1 of

nature shall be taxable only in that Contractcal subdivision or a local authority thereof rendered to that Contracting State or a politiof that Contracting State in respect of services sion or a local authority thereof to a national by, a Contracting State or a political subdivior out of funds to which contributions are made in the discharge of functions of a governmental 1. Remuneration, including pensions, paid by, State.

(われる報酬又は退職年金については、第十五条から前条ま :を得る目的で行なり営業又は事業に関連する勤務につき支 方の締約国又はその地方政府若しくは地方公共団体が利 authority thereof for the purpose of profits. State or a political subdivision or a local trade or business carried on by a Contracting respect of an employment in connection with any shall apply to remuneration or pensions in 2. The provisions of Articles 15, 16, 17 and 18

の規定を適用する。

2

一方の締約国においてのみ租税を課することができる。

約国若

しくはその地方政府若しくは地方公共団体が拠出し

(退職年金を含む。)に対しては、

当 た

金から支払われる報酬

Article

	二重課税		所得の他の		付者事学 金へ業生 の修又 給習は		酬教教 員授 の 報 は
スイスとの租税(所得)条約	1 ヌイヌ内で生ずる所得につき直接に又は源泉徴収によつて	第二十三条	とができる。のに対しては、当該一方の締約国においてのみ租税を課するとのに対しては、当該一方の締約国においてのみ租税を課すると一方の締約国の居住者の所得で前諸条に明文の規定がないも	第二十二条	一方の締約国外から支払われるものであることを条件とする。当該一方の締約国の租税を免除する。ただし、その給付が当該がその生計、教育又は訓練のために受け取る給付については、あり、又はその滞在の前に他方の締約国の居住者であつたものる学生又は事業修習者であつて、現に他方の締約国の居住者でる学生又は事業修習者であつて、現に他方の締約国の居住者でもつばら教育又は訓練を受けるため一方の締約国内に滞在すもつばら教育又は訓練を受けるため一方の締約国内に滞在す	第二十一条	される。 育又は研究に係る報酬につき、当該一方の締約国の租税を免除育又は研究に係る報酬につき、当該一方の締約国の居住者であり、る教授又は教員であつて、現に他方の締約国の居住者であり、ため一方の締約国を訪れ、二年をこえない期間一時的に滞在すため一方の締約国を訪れ、二年をこえない期間一時的に滞在すため、学校その他の教育機関において教育又は研究を行なり、大学、学校その他の教育機関において教育又は研究を行なり
四五五	l. Subject to the present provisions of the laws	Article 23	Items of income of a resident of a Contracting State which are not expressly mentioned in the foregoing Articles of this Convention shall be taxable only in that Contracting State.	Article 22	Payments received for the purpose of his maintenance, education or training by a student or business apprentice who is present in a Contracting State solely for the purpose of his education or training, and who is, or before being so present was, a resident of the other Contracting State, shall be exempt from tax of the first-mentioned Contracting State, provided that such payments are made to him from outside that first-mentioned Contracting State.	Article 21	A professor or teacher who makes a temporary visit to a Contracting State for a period not exceeding two years for the purpose of teaching or conducting research at a university, college, school or other educational institution, and who is, or before such visit was, a resident of the other Contracting State, shall be exempt from tax of the first-mentioned Contracting State in respect of remuneration for such teaching or research.

法人に対して支払り配当である場合には、 なくとも二十五パーセントを所有する日本国 る法人がその議決権のある株式又はその発行 その所得に 法令の現行 の控除を行ならに 改正でこれらの規 れる租税を日本国 付され る ついて納付するスイスの租税を考慮に入れるものと の規 ついて納付される日本国の租 スイス 定及びこれらの規定について今後行なわれ ぁ 定の原則 の租税か の租税は、 ったり、 その所得が、 に影響を及ぼさないものに従 ら控除することに関する日 日本国以外 ス 一税から控除する。 の国において納付さ 1 スイスの法人がそ 0 した全株式の少 ス 居 の居住者であ 住者である 本国 る

の免除が行なわれないとしたならば適用されたであろう税率 る租税の計算にあたつては、 る場合を除くほか、 租税を課される所得を取得するときは、 スイスの居住者がこの条約の規定に従つて日本国に ~用することができる。 もつとも、 スイスは、 ス イスは、 その免除された所得についてそ 当該居住者の残余 当該所得に 3 いつい の規 かの所 · て租 定 が 得に 液適用 一税を免除 な 対す Z 5

2

税を課される場合に が第十条 スイスの に基づいて次のいずれ から第十二条までの 居住者が配当、 は ス かの救済を与える。 利子又は使用料を取得し、 イスは、 規定に従つて日本国に 当該居住者に対し、 におい とれら て租 そ

3

が行なわれる前に算定されたスイスの所得税の額のりち日等しい額を控除すること。ただし、この控除の額は、それ条までの規定に従つて日本国において課される租税の額と国 当該居住者の所得に対する租税から、第十条から第十二

modification of those provisions--which, however, country other than Japan and to any subsequent against Japanese tax of tax payable of Japan regarding the allowance as shall not affect the principle hereof--Swiss company in respect of its profits. the Swiss tax payable by the first-mentioned company, the credit shall take into account dividend or of the total shares issued by that the voting shares of the which owns not less than 25 per cent either of a company which is a resident of Japan and company which is a resident of Switzerland to shall be allowed as a credit against the in respect of income arising in Switzerland tax payable, whether directly or by deduction Where such income is a dividend paid by a Japanese tax payable in respect of that income. company paying the a credit

2. Where a resident of Switzerland derives income which, in accordance with the provisions of this Convention, may be taxed in Japan, Switzerland shall, subject to the provisions of paragraph 3, exempt such income from tax but may, in calculating tax on the remaining income of that resident, apply the rate of tax which would have been applicable if the exempted income had not been so exempted.

3. Where a resident of Switzerland derives dividends, interest or royalties which, in accordance with the provisions of Article 10, 11 or 12, may be taxed in Japan, Switzerland shall allow, upon request, a relief to such resident. The relief may consist of:

a deduction from the tax on the income of that resident of an amount equal to the tax levied in Japan in accordance with the provisions of Articles 10, 11 and 12; such deduction shall not, however, exceed that part of the Swiss

本国において租税を課される所得に対応する部分をこえな ものとする。

(b) 決定されるスイスの租税の概算控除 に規定する救済の一般原則に基づく標準算式によつて

その手続を定める。 (c) 施に関する規定に従い、 なくとも日本国に 合においても、 イスは、二重課税の回避のために締結する国際条約の .係るスイスの租税を免除する。 当該所得に対するスイスの租税の一部免除。いかなる場 日本国から取得した当該所得の おいて課される租税の額に相当する部分 適用されるべき救済を決定し、かつ、 額のうち少 実

4 ば与えられたであろう救済と同一 関し、配当を支払り法人がスイスの居住者であるとしたなら から配当を取得するものは、 スイスの居住者である法人で、日本国の居住者である法人 当該配当に係るス の救済を受ける権利を有す イスの租税に

第二十四条

1 ることがある租税又はこれに関連する要件以外の又はこれら よりも重い租税又はこれに関連する要件を課されることはな 況にある当該他方の締約国 一方の締約国の国民は、 他方の締約国において、 の国民が課されており又は課され 同 様の状

> deduction is given, which is appropriate income tax, as computed before the to the income which may be taxed in

- (b) a lump sum reduction of the Swiss tax which have regard to the general princidetermined by standardised formulae ples of the relief referred to in subparagraph (a) above, or
- a partial exemption of such income from derived from Japan. in Japan from the gross amount of income least of the deduction of the tax levied Swiss tax, in any case consisting at

(c)

out of international conventions of the Swiss with the provisions relating to the carrying relief and regulate the procedure in accordance Confederation for the avoidance of double Switzerland shall determine the applicable

be granted to the company if the company paysuch dividends, to the same relief which would for the purposes of Swiss tax with respect to which is a resident of Japan shall be entitled, ing the dividends were a resident of Switzerland and which derives dividends from a company 4. A company which is a resident of Switzer-

Article

therewith which is other or more burdensome to any taxation or any requirement connected not be subjected in the other Contracting State to which nationals of that other Contracting than the taxation and connected requirements 1. The nationals of a Contracting State shall